

包括連携協定締結式

市は3月30日、第一生命保険株式会社佐世保営業支社（浦部康志支社長）、あいおいニッセイ同和損害保険株式会社長崎支店（米倉久満支店長）、明治安田生命保険相互会社長崎支社（杉浦健支社長）の3社と、包括連携協定を締結しました。

この協定の締結によって、地域が抱えるさまざまな課題を自治体と企業の双方の強みを活かし、課題解決を図るとともに、地域の活性化や市民サービスの向上を目指していきます。

連携事項については、以下のとおりです。

【第一生命保険】

- ①健康増進に関すること。
- ②高齢者支援に関すること。
- ③青少年教育・育成に関すること。
- ④地域活性化に関すること。
- ⑤女性活躍推進に関すること。
- ⑥その他協働事業に関すること。

【あいおいニッセイ同和損害保険】

- ①地域・暮らしの安全・安心に関すること。
- ②防災・災害対策に関すること。
- ③産業振興・中小企業支援に関すること。
- ④観光振興に関すること。
- ⑤そのほか、地方創生に資する取り組みに関すること。

【明治安田生命保険】

- ①健康増進に関すること。
- ②安全・安心なまちづくりに関すること。
- ③教育・文化・スポーツに関すること。
- ④そのほか、協定の目的を達成するために必要な事項に関すること。



旧国鉄調川駅長を追悼

旧国鉄松浦線の調川駅長であった故丸山七郎さんの慰霊祭が4月6日、同駅近くにある称頌碑前しょうしょうひで執り行われました。

昭和18年4月5日に、調川駅で起きた貨物列車の脱線事故の復旧作業をしていた丸山さんは、夜中も明かりを灯して作業を完遂。軍の灯火管制に背いた責任から、翌6日の早朝自ら出発合図を出した機関車に飛び込み亡くなったと伝えられています。

この慰霊祭は、5年前から行われており、この日は、地元関係者のほか、福岡、熊本、大分から20人が参列し、故丸山駅長を追悼しました。



戦没者の霊を慰める

春の戦没者慰霊祭が市内各地で執り行われました。青島地区の慰霊祭は4月4日、殉国の碑前で行われ、約30人の参列者が、21人の戦没者へ哀悼の意をささげ、平和を願いました。

松浦市連合遺族会の八谷健司会長は、「現在の平和と安寧の時代が、尊い命を捧げ礎となった英霊の皆さまの賜物であることを決して忘れません。大戦で学んだ貴重な教訓を風化させることなく、平和の大切さや戦争の悲惨さを語り継ぎ、世界平和の実現に尽力していきます」と慰霊の言葉を述べました。

